

菌譜

板本活然輯

自筆稿本

元

丁卯年三月廿三日  
共四

伊藤篤郎  
大記

7  
106

別圖

尾張伊藤  
篤郎大記

日清文庫

別11  
4  
18

葉



坂本浩然著自筆稿本

田藩文庫藏版アリ

菌譜

四冊

同 第二集

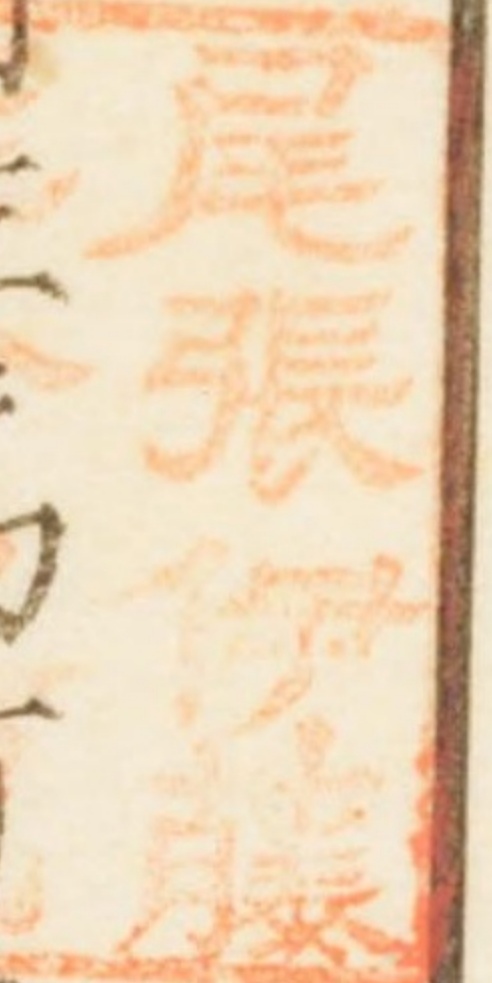
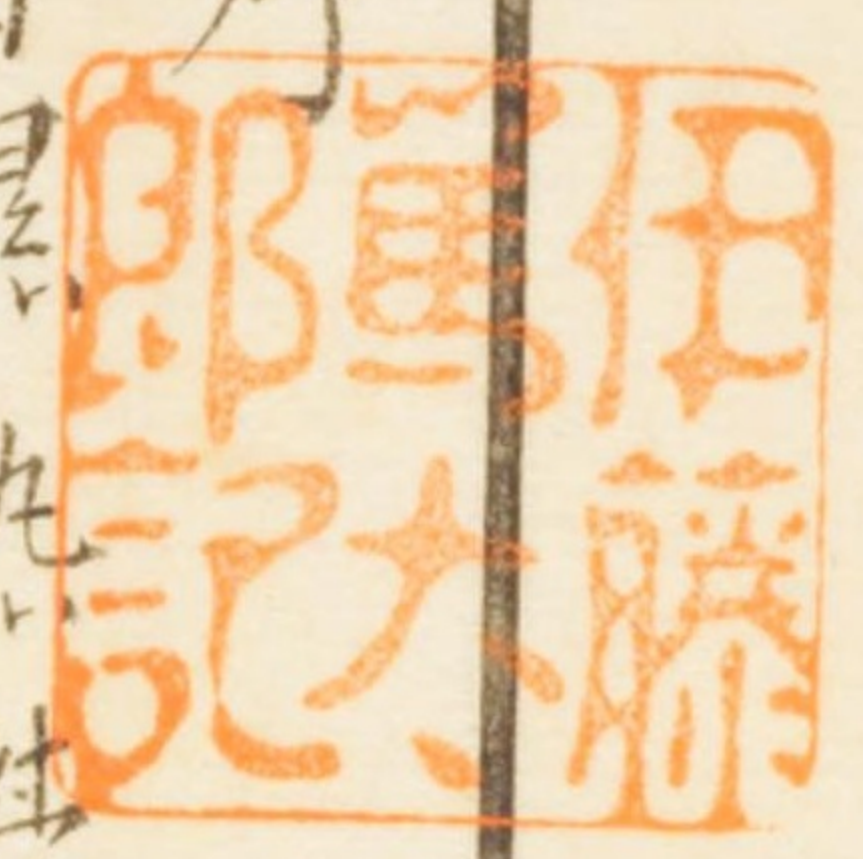
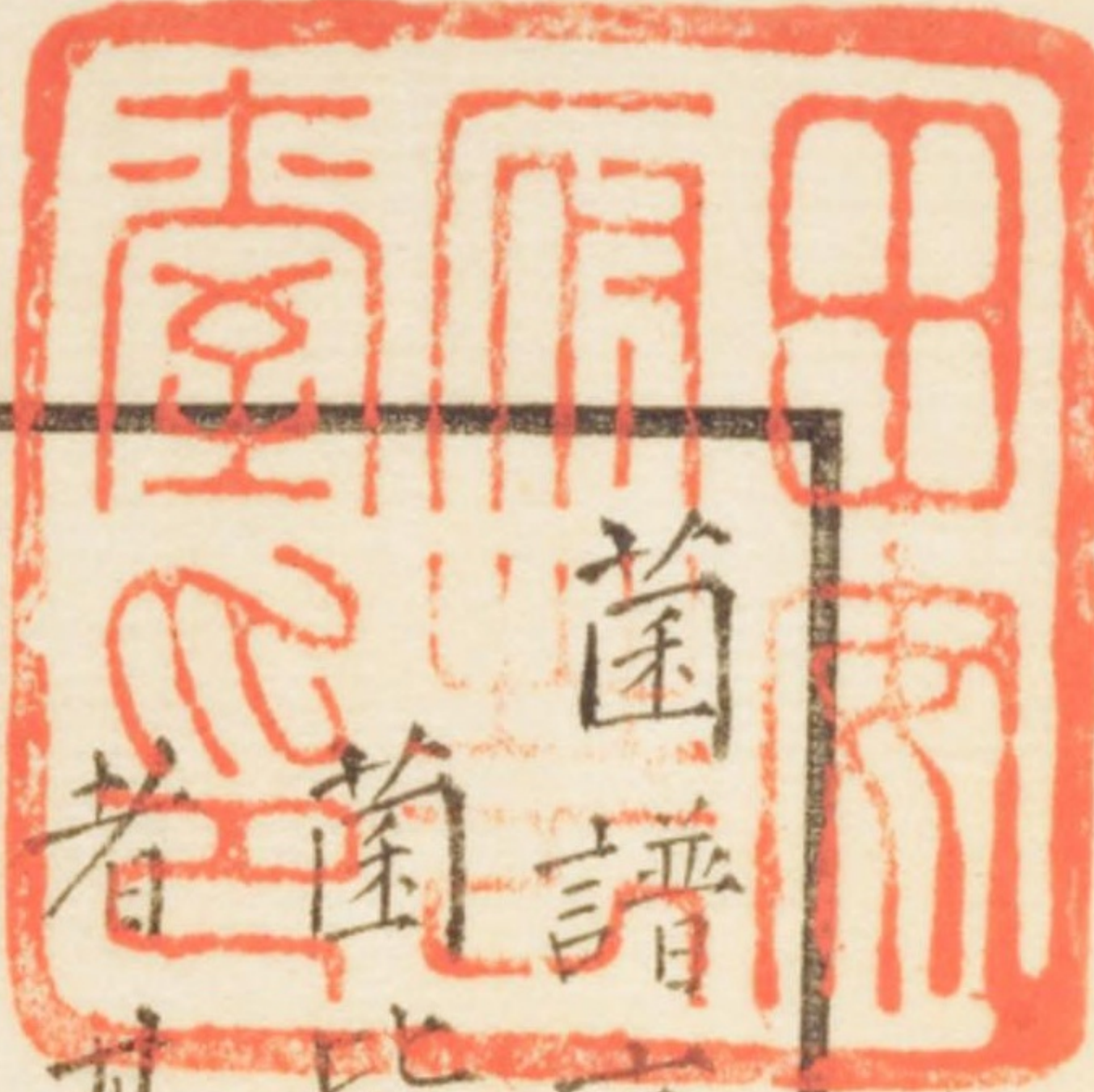
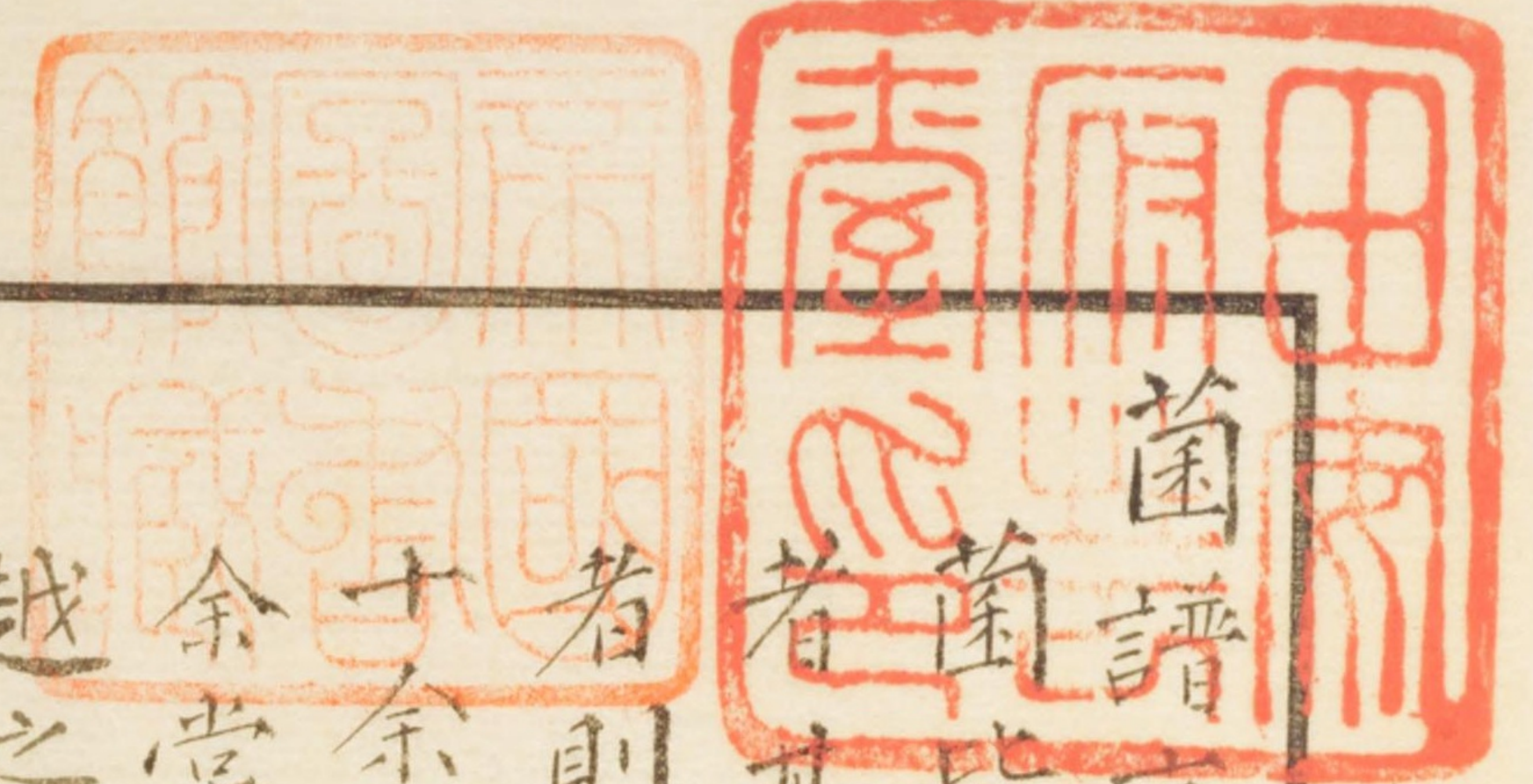
貳冊

坂本浩然ハ紀州藩ノ殿内官ニシテ名ハ直大、字ハ浩雪、又香  
 邨ト号ス本草學ヲ曾尚終ニ學ビ又画ヲ嗜ミ初メ狩野派  
 學ビテ後田安侯ノ家臣幕島雪停ニ師事シ專ラ寫  
 生ニ當リ殊ニ櫻花ヲ描クヲ得ニトシツヒニ呀喃虫ヲ櫻花ノ紋計ヲ  
 以テ溶解シ臘脂ヲ製スルヲ發明シ流動物トシテ之ヲ躍中ノ  
 葉ニ置キ櫻花ヲ描寫スルノ際彼ノ液汁ニテ彩色セラレト云フ  
 (學友武田信賢ハ親)天保二年百花生在園ニ六冊ヲ上梓ス  
 同五年菌譜武舟ヲ刊行ス此稿本ハ田安侯ノ命ニヨリテ自寫  
 著色セルモノ刊本ヨリハ更ニ詳悉完成セルモノト謂フベクソノ發明ニ  
 係リ然脂ノ以テ着色セル然歷然ト鮮紅滿ルカ如シ伊藤篤志ノ記  
 明治四年三月

菌譜序

菌皆濕熱鬱蒸之氣所生焉有佳者有不佳  
 者其佳者可以爲杯酒之侑矣至其有大毒  
 者則至殺人不可以不辨矣宋陳仁玉菌譜載  
 十餘種又息園著草譜皆說氣味形狀而無圖  
 余常以爲遺憾矣文政庚寅之秋遊于信甲與

越之間其地多菌焉其佳則青頭菌頭菌玉草  
 黃草天花草之類其有毒者則天狗草狐草生  
 姜草牛屎草之類不可枚舉矣雖深山窮谷無人  
 之鄉苟遊履所及則無不探求之求之所得必嘗以





試其味圖以寓其真以辨有毒無毒凡三百餘種  
 所親試者雖未至殺人一中其毒則吐瀉腹痛至  
 甚則有不可名狀之症尤可畏也余一日見有食呼  
 月夜草而立斃者即煮取樺皮一椀與之兼飲  
 以地漿輒蘇矣瑣碎錄云凡菌異常亦必其下  
 有蛇虺居焉因是觀之菌之有毒豈啻其性  
 所令然乎亦必有所由來可不慎乎此譜也奉  
 其梗槩耳請博物君子質之是為序  
 天保五年歲在甲午秋九月坂本浩然

菌譜一

目錄

- |     |     |     |     |     |     |     |     |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 紫芝  | 靈芝  | 黃芝  | 松茸  | 松菰  | 早松茸 | 黃茸  | 白松茸 |
| 白茸  | 地腎  | 糖茸  | 紫茸  | 白糖茸 | 黃糖茸 | 玉茸  | 紅玉茸 |
| 胭脂茸 | 黃玉茸 | 參頭菰 | 質紅茸 | 柺占地 | 赤占地 | 雞卵菌 | 若子  |







紫芝

靈芝 萬年タケ

イワヒタケ



通計四十二種

疣占地  
雞埕  
鼠尿  
綠玉草  
白皮草  
猪鼻草

鍋カフリ  
茅草  
奶汁草  
竹草  
鶴草  
題頭菌

紫重菰  
黄重菰  
綠草  
紫面草  
白唐人草





靈芝

マニ子ニダケ  
イワイダケ



靈芝 一名不死草

和名 吉祥ダケ サイワイダケ

處々山中樹下ニヨリテ生或ハ石間ニ生ズ  
莖紫赤色蓋ハ黒褐色長短大小一ナラズ  
皆堅硬ニシテ食フベキモノニ非ズ然レモ芝栢  
菌尊ノ吉祥ナルモノ故ニ菌譜ノ首ニ載ス  
詳ニ本草原始ニ見ヘタリ



黄芝 万年たけ



靈芝 初生

一谷 三秀

玉来 日本記

一谷 菌蠢

マゴジクシ 奥州方言

山中樹下石間ニ生ス形千一ナラスコニ  
圖スルトコロ者ハ紅色ニメ未タ老セザルモノ  
ナリ 紀州ニテハ山ノ神ノシマクニ云フ方言



松茸 金鱉録  
マツタケ



黄靈芝 初生者

一名 金堂 紺珠物

野州深山中樹下及大木根株ニヨリテ生  
ズ形千手ヲ握ルガ如ク小兒拳如シ黄色ナリ  
或ハ是レヲ以テ黄芝トナス予





松茸

多ク松林中ニ生ス故ニ松葉ノ氣アリ上ニ薄皮ヲ帯ビ褐赭色蓋張ルトキハ即チ白色ナリ茸中之佳品是レ二次クモノ絶テナシ

按スルニ九月多クコレヲ生ズ衆茸ニ異ナリ生ズ處ニ至リテハ即チカナラズ芳香人ヲ襲<sup>ツク</sup>セ其處ニハ極テ白醜ヲ生ズルコト白皮ノ如ク厚サ五六分許コレヲ穿テハ白粉アリ白灰ノ如シ肉ニ小丸者二三許アリテ横卧スルモノ徐々トメ起立テ貫出ス實ニ菌ノ佳ニノ上品尤モナリ

葉松茸

松菰 漳浦縣志  
ハマツダケ コマツダケ





早松茸 サマツ



松菰

状チ松茸ニ似テ小其色赭褐色凡松  
茸ノ小ナルモノ矮肥ノモノハ佳ク  
瘦セラハ  
モノハ其味ニ亦佳ナラズ





黄草 キマツダケ



早松草 小毒アリ

状チ松草ニ似テ肥大白色ナリ凡松草ハ  
秋晚多ク生ズコノ品丑六月多ク生ズ香味ナク  
食用ニスルニタラズ



白松茸

シラマツ



黄茸

多ク古松樹根ニ生ズ状チ微シク松茸ニ似  
テ色淡黄其味ニ甘香氣ナシ



白草  
オシユツガルシ  
蝦夷方言



白松茸  
多ク古松ノ根株上ニ生ズ其ノ色潔白味  
淡薄ナリ微シク松氣アリ







地腎  
言口 松露 蓄蘿 中山傳信録  
 一名麦草

白草

状千松旺子ニ似テ蓋厚ク全形白色蝦夷  
 ノ人呼テ於述哥苗志下イフ





青頭菌 ハツタケ 糖蕈



松露

多ク松原沙土中ニ生ズ其色微赭形々圓丸  
モノ扁丸モノ一定ナラズ味脆美傳信録ニ云ク  
松露土ニ入り化シテ菌ト丸松下ノ土中菌アリ  
形々芋ノ如クト云ヘリ一種粟松露トルモノアリ  
黄色其味ニ佳ナリ



紫糖蕈

ムラサキハツダケ



糖蕈

圓蓋ニシテ肥茎多ク松樹原上ニ生ズ其色  
黄赤色香味衆蕈ニ冠タリ





白糖草 ミラハツダケ



紫初草

糖草ノ一種ニテ蓋厚ク紫色ナルモノナリ  
紫キ初ダケト云香味最モ佳ナリ





黄糖蕈 キハツタケ



白糖蕈

山林樛樹下ニ生ズ状チ松花菌ニ似テ淡黄色涎滑アリ柄中空虚コシヲ折レバ白汁ヲ出ス其味辛按スルニ乳蕈ノ属今白糖蕈ニ充ツ





玉草 占地



黄糖草

初草ノ一種ニテ蓋薄ク色黄丸モノナリ  
 黄<sup>キ</sup>初<sup>カ</sup>ケトイフ初草ニ比ス六香味少ク  
 損<sup>ズ</sup>





紅玉蕈 ベニシメヂ



玉蕈

多ク秋月雨後叢林中ニ生ス蓋灰色  
ニメ茎白色柄肥甘香口ニ可ナリ亦呼テ  
大黒占地ト云





胭脂蕈



ベニシメジ

ケ子カルシ

蝦夷方言

紅玉蕈 大毒アリ

占地ノ一種ニテ蓋紅色裡白色ナリ或ハ云  
大毒アリ食フベカラスモシ人コレヲ食フトキハ  
血ヲ吐クトイ、食フ者スクナシ





苗玉茸 キシメチ

胭脂茸

状千古地ニ似テ蓋胭脂ノ如ク其裡及ヒ  
茎白色ナリ小毒アリ食フヘカラズ





7  
4  
106

別 11  
4  
18

黄玉蕈  
状千古地ニ似テ蓋莖トモニ黄色ナリ味  
古地外々比スレバ少シク劣レリ

